

## 齋藤雅通先生をお送りするにあたって

経営学部長 小久保 みどり

齋藤雅通先生は、2020年3月末をもって退職されることになりました。齋藤先生は、1986年のご着任以来34年間にわたって、経営学部、経営学研究科、および立命館大学の発展に大きく寄与されました。このご功績に対して深甚の謝意を表しつつ、この『立命館経営学』をご退職記念号として謹呈させていただきます。

齋藤先生は、1977年に京都大学経済学部経済学科をご卒業後、京都大学大学院経済学研究科修士課程を経て、同研究科博士課程に入学され、1985年に同課程を単位取得退学されました。その後、1986年に立命館大学経営学部助教授として着任され、1995年に経営学部教授とされました。その間、教育面では、マーケティング論や国際マーケティング論などを担当され、研究面では、現代企業のマーケティング行動及びマーケティング思考の国際比較を通じて、日本型マーケティングの特徴と展開についてのご研究を長年続けてこられました。また、近年はマーケティングの国際比較研究とアメリカにおける市場志向型利益管理論の発展史についてもご研究を進めていらっしゃいます。

大学運営面では、学部調査委員長（現・企画担当副学部長）（1993）、学部主事（現・教学担当副学部長）（1997）、そして1999年から2003年までBKC社系研究機構副機構長、2007年から2008年まで同機構長、2008年から2011年には経営学部長・理事・評議員をつとめられました。また2011年から2015年には大阪いばらきキャンパス（OIC）開設準備室長、2015年から2017年まで学長補佐・OIC地域連携室長をなさるなど、経営学部および立命館大学の発展に大きく寄与されました。

上記のような教育、研究、行政面での種々のご貢献の中でも、とりわけOICへの経営学部の移転、展開に多大なご尽力をされ、キャンパス移転を成功に導かれたことを忘れることはできません。

加えて、教育面では、基礎演習や専門演習、また講義の場などにおいて、懇切丁寧で細やかな指導にあたられ、有為な人材を数多く育て、社会の様々な方面へ送り出されてこられました。改めて感謝申し上げたいと思います。

最後になりましたが、齋藤先生におかれましては、いつまでもご健康でご活躍されますよう祈念申し上げますとともに、今後ますますのご研究の発展を願ってやみません

